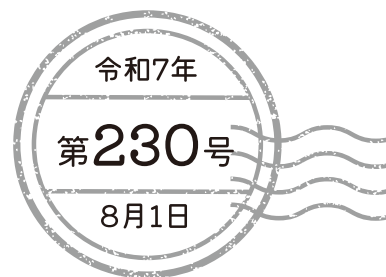




矢板市 議会だより



YAITA SHIGIKAI 2025

新体制 スタート!

議会改革度調査 県内 1 位獲得!!



第403回 随時会議 議会役員の選出

第404回 定例会議 一般質問 補正予算

特集

議会の新構成2

- ・議員紹介6
- ・矢板市議会ニュース8
- ・議会報告会について9
- ・審議結果／委員会レポート11
- ・市政発展のために「一般質問」報告13
- ・高校生のみなさんからの手紙。16

議会の新構成

5月から矢板市議会が新体制に移行しました。

新たに就任した議長、副議長より就任あいさつを申し上げますとともに、各委員会等の構成についてご報告いたします。



議長：宮本 莊山

副議長：小林 勇治

就任のごあいさつ

議長 宮本 莊山

副議長 小林 勇治

市民の皆さまには、市議会の活動にご理解をいただき、誠に感謝申し上げます。

さて、私事ですが、この度、市議会議長に就任いたしました。市民の皆様の期待と信頼に応えるため、責任の重さを強く感じております。市執行部との対話を重視し、活気あふれる議会運営を目指して本気で頑張ってまいります。執行部と議会がお互いを信頼し、議論を深めていくことが市政の発展につながると信じています。14名の議員がそれぞれの分野で頑張っていますので、温かく、時には厳しいご指導を賜りますようお願い申し上げます。これをもって、議長就任のご挨拶といたします。

日頃より矢板市の発展と地域づくりにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、私は5月19日の随時会議において、第39代副議長に就任いたしました。

私たちの矢板市は、自然豊かで温かい人情が息づく地域です。今後も、市民一人ひとりが安心して暮らせる環境づくりや、子育て支援、商工業や農業支援など、多様な課題に真摯に取り組んでまいります。皆さまの声を大切にしながら、開かれた議会運営となるよう、誠心誠意努めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい委員会の紹介

◎:委員長 ○:副委員長

総務常任委員会

税務、防災、生活環境などのチェック

◎石塚 政行 ○渡邊 英子
齋藤 典子 宮本 莊山
関 由紀夫 佐貫 薫
石井 侑男

教育福祉産業常任委員会

教育、福祉、建設、農林、商工業、水道事業などのチェック

◎神谷 靖 ○榊 真衣子
掛下 法示 櫻井 恵二
高瀬 由子 小林 勇治
伊藤 幹夫

予算決算常任委員会

当初予算、補正予算、決算などのチェック

◎櫻井 恵二
○齋藤 典子
ほか全議員

議会運営委員会

議事の手配など、議会運営について決める

◎佐貫 薫 ○石塚 政行
榊 真衣子 神谷 靖
櫻井 恵二 伊藤 幹夫

議会改革推進特別委員会

議会改革をさらに進める施策を立案、実行する

◎佐貫 薫 ○石塚 政行
榊 真衣子 神谷 靖
宮本 莊山 櫻井 恵二
小林 勇治 伊藤 幹夫

議会広報広聴委員会

議会だよりの編集など、議会の情報公開・交換のための施策を行う

◎伊藤 幹夫 ○高瀬 由子
渡邊 英子 榊 真衣子
齋藤 典子 神谷 靖
宮本 莊山 小林 勇治

議会報告会運営委員会

議会報告会をどのように運営するかを決める

◎榊 真衣子
○渡邊 英子
ほか全議員

塩谷広域行政組合議会議員

消防などの塩谷広域圏内の事業を所管する

宮本 莊山 櫻井 恵二
関 由紀夫 小林 勇治
佐貫 薫

各種委員 1

- ・ 監査委員
石井 侑男
- ・ 国民健康保険運営協議会委員
渡邊 英子 齋藤 典子
- ・ 社会教育委員
関 由紀夫

各種委員 2

- ・ 都市計画審議会委員
掛下 法示 高瀬 由子
伊藤 幹夫
- ・ 環境審議会委員
石塚 政行

矢板市議会 6つの委員会

総務常任委員会

本委員会は、財政健全化や政策効果の検証、防災・危機管理体制の強化、行政DXの推進、さらには少子高齢化などの地域課題といった市の根幹に関わる重要な分野を所管しております。

現在、矢板市が直面している課題は多岐にわたりますが、市民の皆様の声をしっかりと受け止め、市民・行政・議会が三位一体となって協働できる信頼される委員会運営を目指し、また、地域社会の発展と市民の皆様の幸福度UPに向け誠心誠意取り組んでまいります。



委員長：石塚政行

教育福祉産業常任委員会

教育・福祉・産業は、市民の暮らしに直結する重要な分野であり、地域の発展と未来を築く基盤です。

当委員会では、これらの分野に関する施策や課題について多角的に審議し、市民の皆様の声に丁寧に寄り添いながら、公正かつ円滑な運営に努めてまいります。

少子高齢・人口減少や地域経済の変化など、時代の要請に的確に応えられるよう、委員会が一丸となり、持続可能で誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。



委員長：神谷 靖

予算決算常任委員会

皆様から預かった税金が、公正で透明かつ効率的に使われているか、市民の声が政策に生かされているかを慎重に検討し、矢板市の明るい未来に少しでも貢献できるように取り組んでまいります。



委員長：櫻井恵二

各委員長からのコメント

議会改革推進特別委員会

昨年度は「議会改革度ランキングで県内1位を獲得」し、一定の評価を得ることができました。

ただし、改革のそもそもの目的は、矢板市の発展に貢献できる組織になることです。そのため、今年度は議会として市の新しい「総合戦略を揉んで、育てる」べく、全委員会で連携して活動し、元気な矢板市の実現に向けて議会力を上げてまいります。

同時に、透明性の高い議会運営、政策立案能力の強化、皆さまと対話する機会の拡充にさらに注力します。



委員長：佐貫 薫

議会広報広聴委員会

市民の声をどのように受け止め、政策に活かすのか、議会には応える責任があり、その対応が、市民の政治や議会に対する信頼に直結します。

「声」を、その後にとって実りある提言や提案にするなら、議会としては「市民との意見交換会」、「高校生との意見交換会」を開催する以前から、議会としての受け止め方を検討し、市民に問いたい視点を伝える情報共有は不可欠です。

情報が未来を左右する！「政治」は「未来」、「政治を考える」＝「未来を考える」、市民の「自分の未来を創造する」ために議会として、今できることを、発信していきます。



委員長：伊藤 幹夫

議会報告会運営委員会

本委員会は、矢板市議会14人の議員全員がメンバーとなり、市民意見交換会・高校生意見交換会を運営する委員会です。

「皆さまのご意見を聞き、それを具体的な政策に繋げていく」という議会活動の「起点」となる大事な委員会であると捉えています。

広報広聴の「広聴」を担う委員会として、広く皆さまのご意見を伺えるように、これまでの歴史を引継ぎつつ、新しい方法も積極的に取り入れて運営していきたいと思っています。



委員長：榊 真衣子

私たちが

任期後半2年／

議員のヨコガオ。

矢板市議会議員です

議員番号(期数順) 年齢／当選回数 ひとことメッセージ

※令和7年8月1日現在

議員名簿はこちらから▶



〈十三番〉 伊藤 幹夫

市民の皆様のご意見を真摯にお聞きし、矢板市と矢板市民の利益を第一に考え、常にファクトチェックを行い、日々努めてまいります。



66歳／当選回数4回

〈十二番〉 小林 勇治

子育て世代の経済対策として、学校給食の無償化や商工業および農業の支援を行うことで、地元経済の活性化を図っていききたい。



70歳／当選回数4回

〈九番〉 櫻井 恵二

議員任期の半分が過ぎました。改めて初心に帰り、市民の財産と安全を守る活動に取り組んでまいります。



69歳／当選回数3回

〈八番〉 宮本 莊山

アナログな私ではありますが、互助の精神のもと、若い議員に助けていただき、有意義な議員活動をしていきます。とにかく「本気」でやります。



72歳／当選回数3回

〈五番〉 神谷 靖

DXによるサービス向上と活気あるまちづくりを目指し、市民の声に寄り添いながら、地域の安心・安全を守るために努めてまいります。



64歳／当選回数2回

〈四番〉 齋藤 典子

初心忘れず、市民の皆様の声大切に、農業問題にも取り組み、地域の声を市政に届け、住みやすい街になるよう努力してまいります。



68歳／当選回数1回

〈十五番〉 石井 侑男

今まで歩んできた人生の経験と知識を礎に、市監査委員としての責務を全力で果たしてまいります。



78歳／当選回数6回

〈十四番〉 佐貫 薫

声をカタチに&子どもたちに誇れる街へ。皆さまのお声に向き合い、一つでも多くカタチにする仕事をやり遂げたいと思います。



50歳／当選回数4回

〈十一番〉 関 由紀夫

人口減少や高齢化によって生じる問題に向き合い、人を呼び込む魅力ある施策づくりを推進してまいります。



68歳／当選回数4回

〈十番〉 高瀬 由子

愛する矢板の為に、子育て・生きがいづくり支援、合宿・大会誘致、「おしらの滝」他魅力溢れる矢板の観光や施策 PR に全力投球！



62歳／当選回数3回

〈七番〉 掛下 法示

地域毎の元気なまちづくりを通じて、矢板市全体の発展に貢献します。



75歳／当選回数2回

〈六番〉 石塚 政行

現場第一！皆さんの声に耳を傾け、矢板市の発展のために尽力してまいります。共に歩み、持続可能な矢板市を目指して行きましょう。



56歳／当選回数2回

〈二番〉 榑 真衣子

子育て支援政策に重点的に取り組んでいますが、財源確保から目を逸らさず、税収を増やす施策についても研究して提案してまいります。



38歳／当選回数1回

〈一番〉 渡邊 英子

矢板に住んで良かったと言えるまちづくりを目指して、思いやりと感謝を忘れずに頑張ってまいりますので、よろしく願いいたします。



64歳／当選回数1回

市議会の旬をお知らせ

矢板市議会ニュース

1 全国市議会議長会にて表彰を受けました。



宮本 莊山 議員



櫻井 恵二 議員



高瀬 由子 議員

5月20日、第101回全国市議会議長会定期総会において、矢板市議会議員が次のとおり表彰を受けました。

議員在職年数 10年表彰

- ・宮本 莊山 議員
- ・櫻井 恵二 議員
- ・高瀬 由子 議員



2 今回の議会改革度ランキングは…!?

早稲田大学デモクラシー創造研究所による全国の地方議会対象の「地域経営のための議会改革度調査2024」のランキング結果(1,544議会回答)で県内1位を達成!全国でも47位の好成績となりました。

これは、「政策力の強化」、「主権者の参画」、「議会機能の強化」の観点から採点される議会の通信簿のようなものです。今後も市政発展のため、議会改革を推進してまいります。

県内 **1 位**

全国 **47 位**

分野別の順位

政策力の強化

県内 **3 位**

全国 **75 位**

主権者の参画

県内 **1 位**

全国 **27 位**

議会機能の強化

県内 **11 位**

全国 **361 位**

小学生以上の矢板市に関わりのある方はどなたでもご参加いただけます。

みんなで話そう！

総

合

戦

略

総合戦略については
こちらから▶



議会報告会 意見交換会

矢板のこれからをつくる一番大事な戦略「矢板市総合戦略」。令和8年度からの新たな「総合戦略」の策定に向け、今年度は一年を通して矢板市議会全体で議論をしてまいります。そこで、策定中の「矢板市総合戦略(案)」について、広く皆さまのご意見を伺うため、意見交換会を開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時

2025年

10月5日(日)

①10:00-12:00 / ②13:30~15:30

会場

矢板市生涯学習館 2F 研修室1

栃木県矢板市矢板106番地2

●午前：総務常任委員会
(総合政策、市民、生活環境に関わること)

●午後：教育福祉産業常任委員会
(教育、子育て、健康、福祉、商工観光に関わること)



▲Googleフォームはこちら

お申込み

電話またはメール・Googleフォームで以下の事項をご連絡ください。

①氏名 ②電話番号(日中、ご連絡がつく番号をお願いします。)

③参加をご希望される回(午前/午後)※両方の参加も可能です。

※小学生までは保護者の同伴をお願いします。小学生未満のお子さま連れでのご参加も可能です。

※託児をご希望の方は、3週間前までにご連絡ください。

☎ 0287-43-6216

※感染症や自然災害等の状況により、中止や開催方法の変更をさせていただく場合にはお電話にてご連絡いたします。

請 願・陳 情 はこんな方法で

請願・陳情は、市民の皆さまの要望を市政に反映させるための制度です。
請願書・陳情書を提出する方は、この要領でご持参ください。

■様式

- ・用紙サイズはA4版。下の様式に準じて日本語で作成してください。

■内容

- ・簡潔な要旨、理由、提出日、請願者（陳情者）の住所を記載し、署名の上、ご提出ください。
- ・1つの請願・陳情につき、1つの趣旨にしてください。
- ※署名が難しい場合は、記名（パソコン等による印字または代筆）の上、押印してご提出ください。
- ※請願書には、必ず1人以上の紹介議員（矢板市議会議員）の署名、または記名押印が必要です。
- 陳情書には紹介議員は必要ありません。
- ※道路や水路等の場合は、地図の写しや略図を添付してください。

■受付期日

- ・定例会議（3月、6月、9月、12月）初日の10日ぐらい前までにご提出ください。
市役所が閉庁のときを除き、いつでも受け付けています。
- ・必ず議会事務局職員にお渡しください。

請願書様式

（表紙）

〇〇〇〇〇に関する請願書
紹介議員 氏 名

（内容）

件 名 〇〇〇〇〇に関する請願
要 旨
理 由

地方自治法第124条の規定により、
上記の請願書を提出します。

年 月 日

請願者（代表）

住 所
氏 名 〇〇〇〇

（連名のときは末尾に署名簿を添え、ここ
には代表者を記載し、ほか何名とする。）

矢板市議会議員 様

陳情書様式

（表紙）

〇〇〇〇〇に関する陳情書

（内容）

件 名 〇〇〇〇〇に関する陳情
要 旨
理 由

年 月 日

陳情者（代表）

住 所
氏 名 〇〇〇〇

（連名のときは末尾に署名簿を添え、ここ
には代表者を記載し、ほか何名とする。）

矢板市議会議員 様

お問い合わせ先：議会事務局 TEL：43-6216

3月随時会議、5月随時会議、6月定例会議の 審議結果

第402回 3月随時会議 〈3月28日〉

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	令和6年度矢板市一般会計補正予算(第11号)	原案可決
議案第2号	令和7年度矢板市一般会計補正予算(第1号)	

第403回 5月随時会議 〈5月19日〉

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	監査委員の選任同意について	同意

第404回 6月定例会議 〈6月6日～6月19日〉

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	令和7年度矢板市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第2号	矢板市市税条例の一部改正について	
議案第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	同意
議案第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案可決
議案第5号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	

議員名	渡邊英子	柚真衣子	齋藤典子	神谷靖	石塚政行	掛下法示	宮本莊山	櫻井恵二	高瀬由子	関由紀夫	小林勇治	伊藤幹夫	佐貫薫	石井侑男	採決結果
議員案第1号	食料安全保障の強化に向けた農業支援を求める意見書														原案否決
	×	×	○	×	×	○	議長	欠	×	○	○	×	×	○	

○は賛成、×は反対

【詳細】





委員会審査レポート

予算決算常任委員会

◎櫻井恵二 ○齋藤典子 渡邊英子 榊真衣子
神谷 靖 石塚政行 掛下法示 宮本莊山
高瀬由子 関由紀夫 小林勇治 伊藤幹夫
佐貫 薫 石井侑男

・令和7年度矢板市一般会計補正予算(第2号)

概要

歳入歳出にそれぞれ1億1,048万4千円を追加計上し、予算総額を160億8,722万円に補正するもの。



総務常任委員会

◎石塚政行 ○渡邊英子 齋藤典子 宮本莊山
関由紀夫 佐貫 薫 石井侑男

・矢板市市税条例の一部改正について

概要

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。



市勢発展のために！ 「一般質問」報告

市政を 問う。

6月定例会議

市政の課題や将来の展望について^{ただ}質す一般質問。
6月議会では、6人の議員が質問をしました。
「矢板を良くしたい！」
各議員の熱い思い、ご一読ください。





高瀬 由子 議員

【今回の質問】

1. スポーツ都市宣言後の取組について
―「スポーツツーリズムのまち」を
目指して―
2. 「スポーツサミット」の開催について
―「スポーツを活用したまちづくり」を
目指して―
3. おしらじの滝等矢板の「素敵」PRについて
―「選ばれる矢板！」へ―
4. 矢板のイベントカレンダー作成について
―矢板の「癒し」「感動」の魅力発信―
5. 幼児からの英語教育について
―「輝ける将来」のためにグローバル
人材の育成を―

スポーツツーリズムのまちを目指して！

質問

昨年「スポーツ都市宣言」を提案し10月に宣言された。全国大会出場交付金も質問後増額された。今後の取組をどう行っていくのか。

答弁

スポーツ都市宣言後、大会出場交付金の制度変更や文化スポーツ複合施設使用料の一部減額を行い、野球リーグ戦を誘致した。スポーツ都市宣言のサブタイトルや目標を具体的な施策とする為スポーツ推進計画を策定予定である。市民の意識調査を行い、令和8年度末までには策定し、生涯スポーツやスポーツ推進の方策を見据えて、スポーツ都市宣言の達成に向けた事業を推進する。

再質問

市外の施設利用団体にもアンケートを取り利用率向上を図っては？

再答弁

WEB 調査のようなかたちでフォームを作り意見を把握していきたい。

おしらじの滝等PRし「選ばれる矢板」へ！

質問

日本一になったおしらじの滝、CM や映画の舞台になったともなり橋、山縣有朋記念館、ミツマタ群生地等注目を集める矢板の地域資源をPRし、関心人口・関係人口から交流人口へ繋げてはいかか。

答弁

スポーツツーリズム推進やイベント支援、首都圏等への観光PRにより令和6年観光入込数は過去最高の239万人を記録。大阪・関西万博に係る出店、TikTokの有効活用、フィルムコミッション事業の展開、旅行会社への連携強化を図るなど、効果的な観光PRを行い、市外の方に興味を持っていただき交流人口増加につなげる。

再質問

観光客の国籍は？

再答弁

令和6年度の外国人宿泊者は1,472人。アジア・中東圏から1,333人、そのうち1,160人が韓国籍。今年度は市長のトップセールスにより台湾人来訪が増える見込み。



齋藤 典子 議員

【今回の質問】

1. 林野火災について
2. AEDについて
3. 園芸用パイプハウス補助について
4. 矢板南産業団地道路について
5. ラーケーション制度について

農作物生産の為にパイプハウスの補助を！

質問

地域の農産物生産の維持は重要であり、安定的な農業経営をしていく為の支援策として、パイプハウスがあれば多目的な栽培が可能になる。しかしながら、設置には資材高騰などで高額な費用もかかることから、園芸用パイプハウス設置のための補助について市の見解を問う。

答弁

本市の園芸振興に効果的な事業について検討し露地野菜だけでなくパイプハウスを活用した施設園芸作物についても検討の対象とし、本市の産業全体が、好循環が生まれるきっかけとなるような「儲かる農業」を目指し、検討していく。

ラーケーション制度について問う

質問

ラーケーションとは、子供が保護者と一緒に郊外学習を行う事を目的とした休暇制度の事で、この制度があれば子供が安心して休むことができ、学びの多様化や、親子のコミュニケーションが深まる。矢板市ではこのような制度を導入することは考えていないか問う。

答弁

この制度は、家族と過ごすことにより家族との絆が深まるなどの効果が期待されており、平日保護者等が休みの日に子供と一緒に活動できる制度として、年間3日間の取得が認められている。今後は保護者のニーズを把握し、学校とも協議した上でこの制度の導入について検討していく。



神谷 靖 議員

[今回の質問]

1. 安心・安全なまちづくりへの取組について
2. 冷水機による小中学校の熱中症対策について
3. 保育施設へのおむつサブスク導入について
4. ヒアリングフレイルの早期発見に向けた取組について

おむつサブスクで子育て環境の充実願う

質問

市内保育施設へ紙おむつの定額制サービス(おむつサブスク)を導入してもらいたい。

答弁

おむつサブスクは、保護者の負担を減らす手段として有効と考えている。まずは泉保育所で無料トライアルを行い、保護者と保育士にアンケートを実施し、効果や課題を検証する。同時に、民間保育施設にも実施を呼びかけ、協力が得られた施設とは一緒に検証を進める。検証結果はすべての施設と共有し、今後の導入判断に活かす予定。今後も子育て世代からも選ばれる矢板を目指して、子育て環境の充実に努めていく。

ヒアリングフレイル対策で心のケアを!

質問

ヒアリングフレイルとは、加齢による聴力低下により交流が困難となる状態で、認知症や孤立のリスクが高まる。政府も対策を求めており、本市でも早期発見が必要であると考え、本市の取組について伺う。

答弁

本市では民生委員や保健師、看護師の訪問等を通じて高齢者の聴力低下を把握し、また幸齢課窓口リーフレットを置いて早期発見と啓発に努めている。今後は高齢者本人と周囲の方の2面から更なる取組を実施し、早期発見に努め、高齢者の生活の質を確保し、幸せに年齢を重ねていけるよう取り組んでいく。



渡邊 英子 議員

[今回の質問]

1. チーム担任制について
2. 学校運営協議会と地域学校協働活動について
3. お墓と樹木葬について

学校運営協議会と地域学校協働活動について

質問

学校と保護者、地域が一体となった子育て環境を進めていくため、連携体制や協働体制、維持や継続のための人員の問題なども含め、今後の学校運営協議会と地域学校協働活動の進め方について、市の考えを伺う。

答弁

学校と地域が課題や目標を共有できるように互いの立場を尊重して、合意点を探るような話し合いができる雰囲気づくりや議論の進め方について支援をしていく。本年度は、文部科学省から委嘱された指導者による研修会を予定している。地域学校協働活動については、若者世代による企画運営の機会創出、保護者世代のより主体的な参画の促進、コーディネート機能の整備等、可能な支援策を検討していく。

お墓と樹木葬について

質問

お墓の管理や墓じまいの相談があった場合に、どのような対応をしているのか伺う。

答弁

現在、事前の相談はなく、改葬許可申請の際に補足的に理由を伺うと、継承や管理が困難、住まいが遠いので遺骨を移動するとのこと。今後についても、墓地に関するニーズを把握するために動向を注視し対応をしていきたい。

質問

樹木葬や永代供養のニーズが高まっていく中で、矢板市では樹木葬についてどのように考えているか伺う。

答弁

長峰墓苑は、樹木葬や合葬墓に対応している区画はないが、複数の市民から樹木葬や合葬墓の整備についての声もある。今後においても、樹木葬や合葬墓に対するメリットやデメリットを引き続き調査するとともに、市民のニーズや課題等の把握に努めていく。



榎 真衣子 議員

[今回の質問]

1. 児童生徒の登下校時の安全確保について
2. 保育サービスやファミリーサポートセンター事業について
3. 企業誘致強化のための敷地外緑地制度の整備について

片岡小学校から学童への通所ルートの安全確保について

質問

併設の学童保育施設がない片岡小学校では、最も近い学童まで徒歩20分程度かけての通所が必要であり、新一年生の保護者が5月の連休前までの間、仕事を休んで交代で通所の付き添いをしている現状にある。このルートの安全対策の状況について伺う。

答弁

危険箇所として、歩道が設置されていない箇所や、変則な十字路がある。警察による信号機の設置は対策済だが、樹木の伐採は地元の協力が得られず対策できていない。今後も学校からの登下校指導を行うとともに、ボランティアを募り見守り体制を検討していく。

ファミリーサポートを利用しやすくするために

質問

ファミリーサポートは、登録機会の増加や、予約の利便性向上の必要がある。今年度からこども課が事業主体となったファミリーサポートセンター事業について、今後の取組方針を伺う。

答弁

こども課窓口での各種手続きの際や、乳幼児健診・育児教室等の会場において全ての保護者に案内し、希望者にはその場で会員登録の手続きが行えるように進めていく。また複数の提供会員と速やかに事前打合せを行うことで、できる限り支援依頼に応じていきたいと考えている。さらに電話予約に加え、矢板市公式LINEを活用して利便性を高めていく。



掛下 法示 議員

[今回の質問]

1. 財政の長期見通しについて
2. 東小学校の建て替え問題について
3. 矢板市公共施設個別施設計画について

東小学校の建替問題について

質問

東小学校は令和3年に事業費30億円でスタートしたが、令和5年に鉄筋のかぶり厚さ不足で長寿命化に適さないとされ、建替えに転換した結果、国庫補助金がゼロとなり、事業費が全額市負担となり財政に大きな影響を与えた。長寿命化改修とは建物の耐久性を高め、機能や性能を高め、学校の求める水準までを引上げる改修で、工事費は大幅縮減でき、結果は建替えと同等となり、費用対効果は非常に大きくなるものです。かぶり厚さは補修、補強を行えば再び使用できるものであり、かぶり厚さをもって、建替に転換したのは判断間違いと思うので、見解を問う。

答弁

かぶり厚さが、低い所で1cmを切る所があり、柱に建築基準法を満たさない瑕疵があるため、長寿命化に適さないとした。また、耐震改修は実施しているので耐震性能は問題ないが、構造的な問題と新しい教育への対応等を総合的に考え建替えすべきと判断した。

市役所の長寿命化について

質問

市役所については、現在新築の予定で進めているようですが、現代の長寿命化改修は要求される安全性と機能の全てが対応可能であり、まずは長寿命化と新築の双方の投資費用・安全性機能等を比較検討することを問う。

答弁

本庁舎は築62年を超えていて、目標耐用年数80年に対して使用できる年数が短い事、バリアフリー対応などの市民の利便性向上のため、建替えて進めたい。ただし新庁舎が出来るまでの期間において、市民や職員の安全性確保の点から、暫定的な措置について検討してまいります。

今号では、「高校生と矢板市議会との意見交換会」に参加くださった生徒さんに、意見交換会の感想をいただきました。



矢板東高等学校2年
たかの ひなた
高野 日向さん
(令和7年度前期生徒会副会長)

私は、高校に入学するまで、矢板市がどのような場所であるか知りませんでした。

放課後に市街を散策した際には、自然に囲まれながらも、生活に不便のない利便性を備えた街であることに感心しました。

昨年度は、矢板市議会議員の方との意見交換会に参加させていただき、矢板市について深く知る機会をいただきました。日々お世話になっている矢板市への理解を深め、矢板市のために自分ができることを考えていきたいと思います。

少子高齢化社会となり、全国の地方自治体にとって厳しい時代となりましたが、その流れに負けることなく発展し続ける矢板市となるよう、祈念しております。

矢板市議会へのご意見・ご提言はこちらまでお寄せください。いただいてから1か月を目安に矢板市議会HPでご回答いたします。

- ・FAX 0287-44-1100
- ・Email gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp
- ・封書など 〒329-2192 矢板市本町5-4 矢板市議会事務局宛

次回9月定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2	3	4	5	6
					本会議	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議(一般質問)			常任委員会		
14	15	16	17	18	19	20
		本会議				
21	22	23	24	25	26	27
				本会議		
28	29	30				

8/20(水)全員協議会 10/16(木)全員協議会
いずれの日も10:00開会(変更の場合があります。)

議会の動画配信を見る

本会議、全員協議会の模様は市議会ホームページからご覧いただけます。
矢板市議会公式YouTubeチャンネルはこちら



議会に参加する

議会に対して、陳情等を提出することができます。
また、ご意見・ご提言なども随時お寄せください。

議会の活動を知る

本市議会の活動は公式SNSから見るすることができます。

矢板市議会公式Facebookはこちら



矢板市議会公式X(旧Twitter)はこちら



議会の傍聴について

会議は基本的に一般に公開されていますので、自由に傍聴できます。市役所本庁舎3階の議場にお越しください。なお、団体が傍聴される場合は、事前に連絡してください。

議会だよりへの声

より良い議会だより作成のため、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
Webアンケートはこちら



編集後記

市民の皆様には、矢板市議会だよりをいつもお読みいただき、また意見交換会を通じてご意見やご提案をいただき、感謝申し上げます。

矢板市議会も新しい体制となり、第230号の刊行にあたり、議長、副議長、各委員長、各議員の所信および各議員の想いを掲載いたしました。

今後とも、皆様とできる限り情報を共有し、様々な手段を通じて広報広聴活動に力を注いでまいりますので、お力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(委員長 伊藤幹夫)

※次号(第231号)は11月1日発行予定です。



議場で自習! 待ってるよ!

【自習室利用時間】平日 8:30~17:00

※開いてないときもあるので、行きたい!と思った時には、お電話くださいね。

第229号のお詫びと訂正について

このたび令和7年5月1日に発行しました第229号において内容に一部誤りがございました。深くお詫びいたしますとともに、謹んで訂正させていただきます。

P3: 民生費の欄 (7行目)

<訂正前>29歳以下の方の結婚に対して30万円、また～

<訂正後>29歳以下の方の結婚に対して300万円、また～

P4: 土木費の欄 (3行目と6行目)

<訂正前>令和10年の計画交通量

<訂正後>令和12年の計画交通量